



第105期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

○ トップメッセージ Top Message

株主の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。ここに当社グループの第105期の中間報告書をお届けいたします。

当中間連結会計期間における世界経済は、米国は堅調に推移し、欧州も緩やかな回復基調となりましたが、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化による地政学的リスクの高まりなど、下押しリスクが継続しました。また、中国は個人消費の低迷と不動産市場の悪化により減速が続きました。

日本経済は、個人消費やインバウンド需要の回復の動きが見られたものの、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや為替レートの大幅な変動など、先行き不透明な状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高38,838百万円（前年同期比1.7%増）となりました。営業損益は、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや円安による仕入れコスト上昇の影響等への対応として、生産性の向上や経費削減に努めましたが、449百万円の営業損失（前年同期は519百万円の営業損失）となりました。経常損益は、為替差損等の計上による営業外費用の増加により、471百万円の経常損失（前年同期は45百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、特別利益に固定資産売却益の計上があり、前年同期に比べ1,434百万円増加し、1,588百万円（前年同期比927.2%増）となりました。

今後も、喫緊の課題である足元の業績における収益性悪化の改善を図るべく、当社グループのさらなる生産性向上（コストダウン）に、より一層強力に取り組むとともに、一部製品については価格改定を推進してまいります。加えて、既存事業における付加価値率向上および業務の効率性向上、新規事業創出の推進により、利益を生み出す構造に変革し、早期に収益性の改善を図ります。なお、本年4月25日に開示したシューズ国内生産終了に関しましては、各お取引先様の個々の事情や状況も踏まえ対応を進めております。

世界・日本における生産や消費の大きな変化に対応し、持続的な成長を遂げるため、当社グループが保有する技術と経営資源を最大限に活かし、積極的・効率的な展開を図ることにより「企業に社会に未来に、新たな価値を創り続けていくこと」で『人と環境にやさしく快適な生活空間を創造する企業』を目指してまいります。

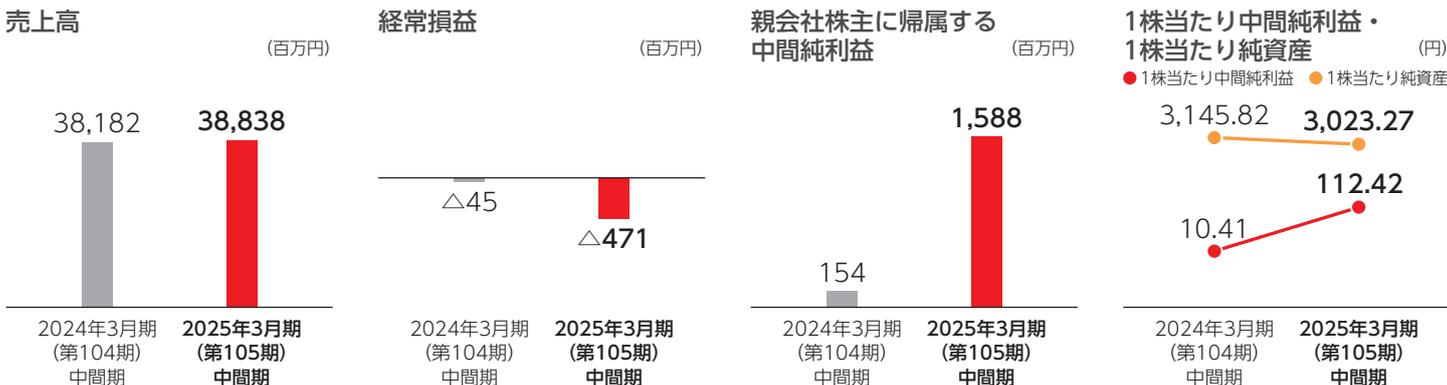
株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
日景一郎

2024年12月

○ 連結財務ハイライト Financial Highlights



<https://koekiku.jp>

アクセスキー 5142UnjL

アンケート回答期間：2024年12月6日～2025年2月5日



株主の皆様の声をお聞かせください

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で
薄謝（Amazonギフトカード500円）を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

決算数値等の詳細は、当社
ホームページをご覧ください。
<https://www.achilles.jp/ir/>

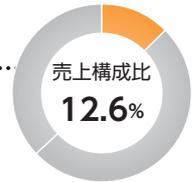


○ セグメント別事業の概況 Business Review



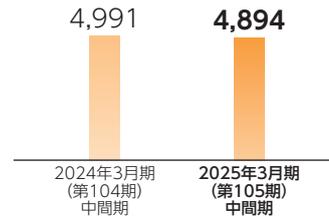
シューズ事業

- 売上高 **4,894**百万円 (前年同期比 **1.9%**減)
- セグメント損益 **△508**百万円 (前年同期は **△404**百万円)



- ・世界有数のランニングシューズブランド「BROOKS (ブルックス)」は好調に推移したが、その他の商品群の回復が遅れ減収。
- ・セグメント損益は、販売費の削減等コストダウンに努めたものの、円安による仕入れコスト上昇の影響等により損失増加。

売上高推移 (百万円)

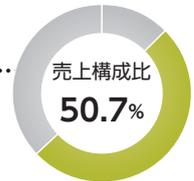


セグメント損益推移 (百万円)



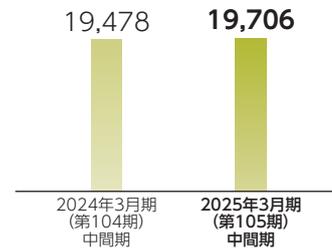
プラスチック事業

- 売上高 **19,706**百万円 (前年同期比 **1.2%**増)
- セグメント損益 **99**百万円 (前年同期比 **82.1%**減)

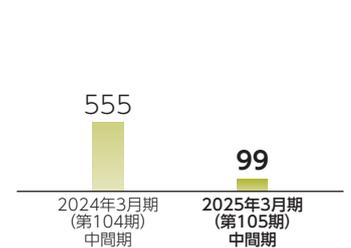


- ・車輦内装用資材は、国内市場で自動車メーカーの生産が回復するも、北米・中国市場での生産が落ち込み、前年売上を下回る。
- ・フィルムは、国内外のエレクトロニクス分野向け、並びに主に欧州でのエクステリア分野向けが伸長し、前年売上を上回る。
- ・建装資材は、床材は好調に推移するも、壁材は市況低迷の影響により苦戦し、前年売上を下回る。
- ・防災対策商品は、米国市場でのボートの販売は伸び悩むも、国内の防災用エアertentの販売が好調に推移し、前年売上を上回る。
- ・プラスチック事業全体では、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや、米国・中国子会社の販売減少の影響等により増収減益。

売上高推移 (百万円)

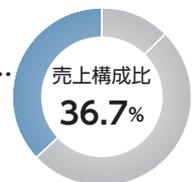


セグメント損益推移 (百万円)



産業資材事業

- 売上高 **14,237**百万円 (前年同期比 **3.8%**増)
- セグメント損益 **1,135**百万円 (前年同期比 **78.9%**増)

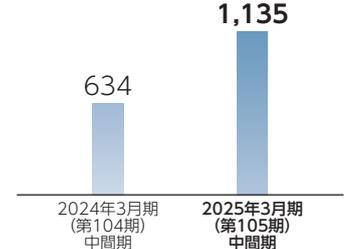


- ・ウレタンは、寝具・雑貨用途が復調し、前年売上を上回る。
- ・断熱資材は、ボード製品が非住宅建築向けで好調に推移したこと等により、前年売上を上回る。
- ・工業資材は、半導体ウエハー搬送用部材が回復基調で推移したことや医療機器向け大型成型品の伸長により、前年売上を上回る。
- ・産業資材事業全体では、販売増加に伴う利益の増加やコストダウン効果による利益率の改善等により増収増益。

売上高推移 (百万円)



セグメント損益推移 (百万円)



「BROOKS(ブルックス)」から「Glycerin MAX(グリセリン マックス)」発売開始

当社が日本国内の総販売代理店を務める米国ランニングシューズブランド「BROOKS(ブルックス)」から、最新クッションフォームを搭載した「Glycerin MAX(グリセリン マックス)」の販売を2024年10月より開始しました。

本製品のミッドソールには、2段階の射出成形と超臨界発泡技術により単一のフォームで大小異なる気泡を含むデュアルサイズを実現した新素材「DNA TUNED(ディーエヌエー チューン)」を採用。柔らかさと力強い反発力を兼ね備えたブランド史上最も厚底のクッションで、快適で効率的なランニング体験を提供します。

「BROOKS」は、2024年から“Let's Run There”のグローバル・ブランド・プラットフォームを展開。ランナーの多様な目的と無限の可能性を称賛し、ランニングの力を通じて世界中の人々の豊かさに貢献することを目指しています。



Glycerin MAX

防災セミナー「今、知っておきたい水害対策とは？」開催

2024年9月3日、当社の本社会場とオンラインとのハイブリッド形式にて、当社断熱資材事業部と防災事業部の共催による公開の防災セミナーを開催しました。

能登半島地震をはじめ豊後水道地震、山形・能登での豪雨災害、初の南海トラフ地震臨時情報発表など、昨今激甚化する自然災害への防災意識が高まる中、本セミナーでは、備え・防災アドバイザーの高荷智也先生に「大雨・台風への備え～水害対策最新トレンド・命を守る4つのポイント～」と題した基調講演を行っていただき、お客様を含め200名以上の方にご参加いただきました。本社会場では、当社断熱ボードやシューズ、防災製品を展示し、多くの方に当社製品の魅力を知っていただける機会となりました。

今後も社会的課題解決の象徴でもある防災事業の拡大に努め、防災活動を積極的に支援してまいります。



高荷智也先生



(上) 講演の様子
(下) 展示の様子

男子バレーボールチーム「レーヴィス栃木」とスポンサー契約

当社は、栃木県足利市をホームタウンとし2021年12月に創設された地域密着型男子バレーボールチーム「レーヴィス栃木」とスポンサー契約を締結しました。

レーヴィス栃木は、今季(2024-25)より県内チーム初のVリーグへの参入が決定し、FUKAI SQUARE GARDEN足利(足利市民体育館)をホームに熱戦を繰り広げています。レーヴィス栃木の一部ホームゲームでは、当社シューズの販売ブース設置や子ども向け会場限定グッズが当たるイベントを協賛し会場を盛り上げています。

足利を創業の地とする当社は、防災協定をはじめ地域の皆様への貢献に取り組んでいます。今後も「地域活性化」「子ども達の未来を創造する」をチームビジョンに掲げるレーヴィス栃木を応援するとともに、さらなる地域活性化に貢献してまいります。



レーヴィス栃木
エンブレム



開幕戦の様子

会社概要 / 株式の状況 Corporate Data/Stock Information

● 会社概要 (2024年9月30日現在)

社名	アキレス株式会社	営業所	北海道営業所 / 九州営業所
設立	1947年5月	工場	足利第一工場 / 足利第二工場 滋賀第一工場 / 滋賀第二工場 美唄工場 / 九州工場
資本金	14,640,795,671円	連結対象子会社	ACHILLES USA, INC. 阿基里斯(上海)国際貿易有限公司 アキレスコアテック株式会社 関東アキレスエアロン株式会社 大阪アキレスエアロン株式会社 その他13社
従業員数	1,267名		
本社	〒169-8885 東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー		
関西支社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー23階		

● 役員 (2024年10月1日現在)

代表取締役社長	日景一郎	(営業部門統轄)
取締役会長	伊藤守	
常務取締役	横山浩	(製造部門統轄)
常務取締役	河野和晃	(管理部門統轄兼CSR担当兼経理本部長)
取締役	大蔵孝也	(プラスチック部門担当兼中国担当)
取締役	柳川達也	(営業部門統轄兼シューズ部門担当兼産業界部門担当)
取締役	越智久生	(北米担当兼化成産品事業部長)
取締役	川島英一	(製造部門統轄兼生産革新担当兼品質保証本部長)
取締役	佐藤修	
取締役	館野均	
取締役(常勤監査等委員)	山田茂	
取締役(常勤監査等委員)	菊入信幸	
取締役(監査等委員)	須藤昌子	
取締役(監査等委員)	笠原智恵	
取締役(監査等委員)	松岡一臣	

注記 取締役佐藤修氏、館野均氏、須藤昌子氏、笠原智恵氏および松岡一臣氏は、社外取締役であります。

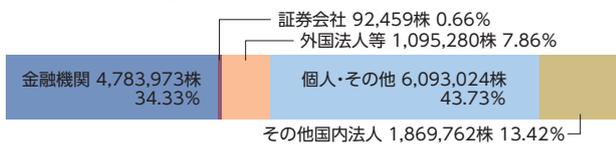
● 執行役員 (2024年10月1日現在)

執行役員	石黒直人	(シューズ事業部長兼第一販売部長)
執行役員	金田浩一	(車輛資材事業部長兼車輛資材販売部長)
執行役員	柏瀬功次	(建築事業部長)
執行役員	村公繁	(防災事業部長)
執行役員	吉田公隆	(ウレタン事業部長)
執行役員	中野浩明	(断熱資材事業部長)
執行役員	井上晋介	(工業資材事業部長兼工業資材販売部長)
執行役員	黒岩登志也	(プラスチック製造本部長)
執行役員	大越俊明	(産業資材製造本部長兼工業資材工場長)
執行役員	松田光弘	(関西支社長)
執行役員	佐藤裕二	(購買部長)
執行役員	小崎宗一	(人事総務部長)
執行役員	市川弘樹	(コンプライアンス本部長兼監理課コンプライアンス推進課長)
執行役員	河原雅明	(研究開発本部長)
執行役員	小林俊一	(安全環境担当兼物流改革担当兼製造管理本部長)
執行役員	石原喬二	(滋賀地区製造担当兼製造管理副本部長)
執行役員	松宮稔	(情報システム部長)

● 株式の総数等 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	14,562,714株
株主数	10,582名

● 株式分布状況 (2024年9月30日現在)



注記 上記のほか、当社保有の自己株式628千株があります。

● 大株主 (2024年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,464	10.51
東京アキレス協和会	834	5.99
株式会社みずほ銀行	663	4.76
大阪アキレス協和会	546	3.92
足利アキレス協和会	540	3.88
朝日生命保険相互会社	431	3.10
岡 秀朋	387	2.78
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	353	2.54
株式会社足利銀行	343	2.47
セコム損害保険株式会社	315	2.26

注記 上記のほか、当社保有の自己株式628千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日
	中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会	6月中
単元株式数	100株

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (https://www.achilles.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務のお問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出など	お取引の証券会社等	みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類について	右記みずほ信託銀行	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)について	お取引の証券会社等または右記みずほ信託銀行	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

アキレス株式会社

〒169-8885
東京都新宿区北新宿二丁目21番1号
新宿フロントタワー
<https://www.achilles.jp>

